

Metalart Group

株式会社 メタルアート

第93期 定時株主総会
2024年6月25日

証券コード: 5644



目次

第93期 定時株主総会

会議の目的事項	3
監査報告	4
事業報告	5
2024年度業績予想について	9
2030年ビジョン	12
～5年目の取組みについて～	
企業価値向上にむけた課題と取組み	38
第93期（2024年3月期）連結計算書類	45
議案の説明	48
質疑応答	52
議案決議	53



会議の目的事項

報告事項

1. 第93期 事業報告、連結計算書類、会計監査人及び監査役会の連結計算書類の監査結果報告の件
2. 第93期 計算書類の内容報告の件

決議事項

<会社提案>

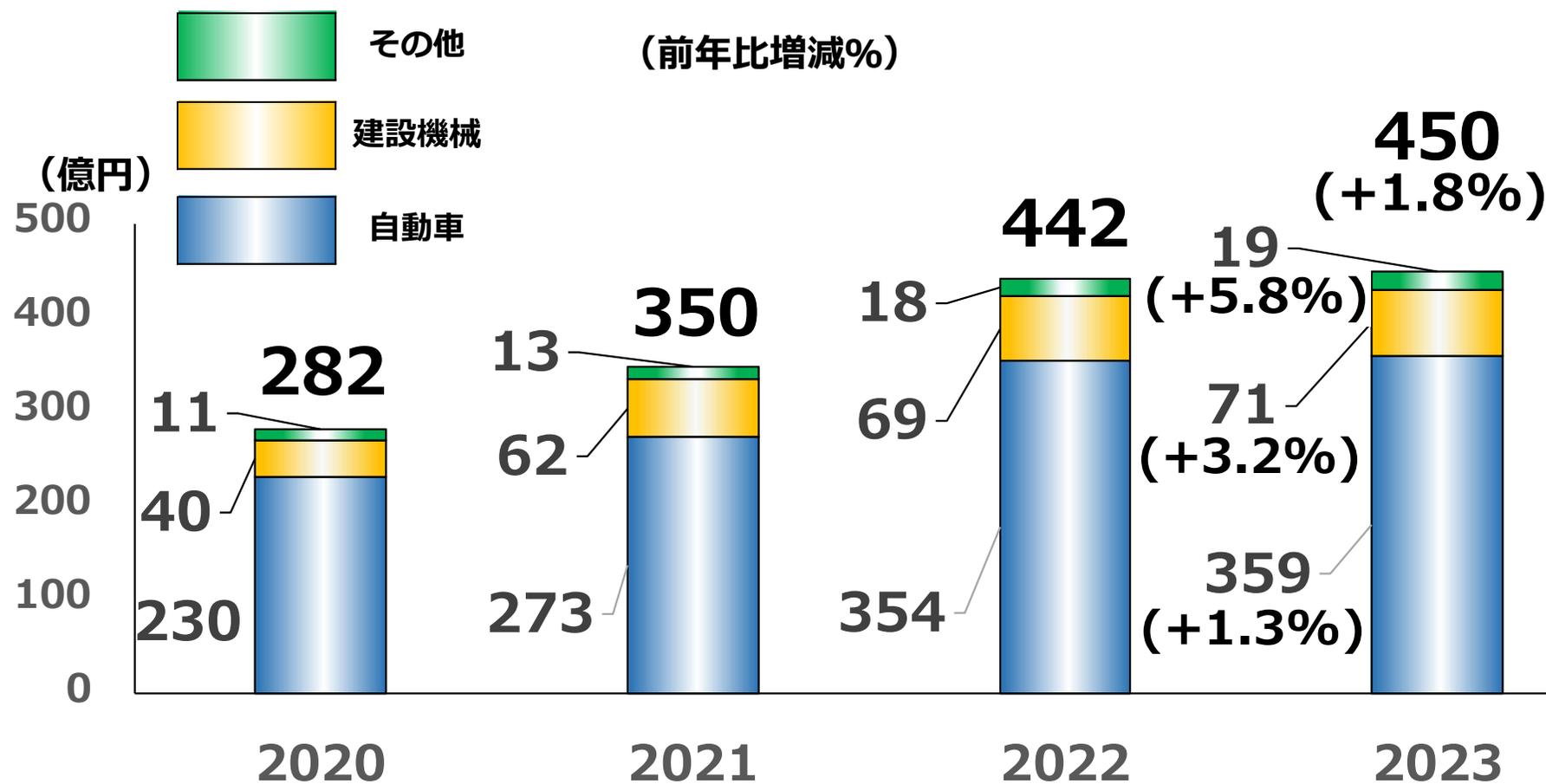
- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 取締役5名選任の件 |
| 第2号議案 | 監査役3名選任の件 |
| 第3号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |

監査報告

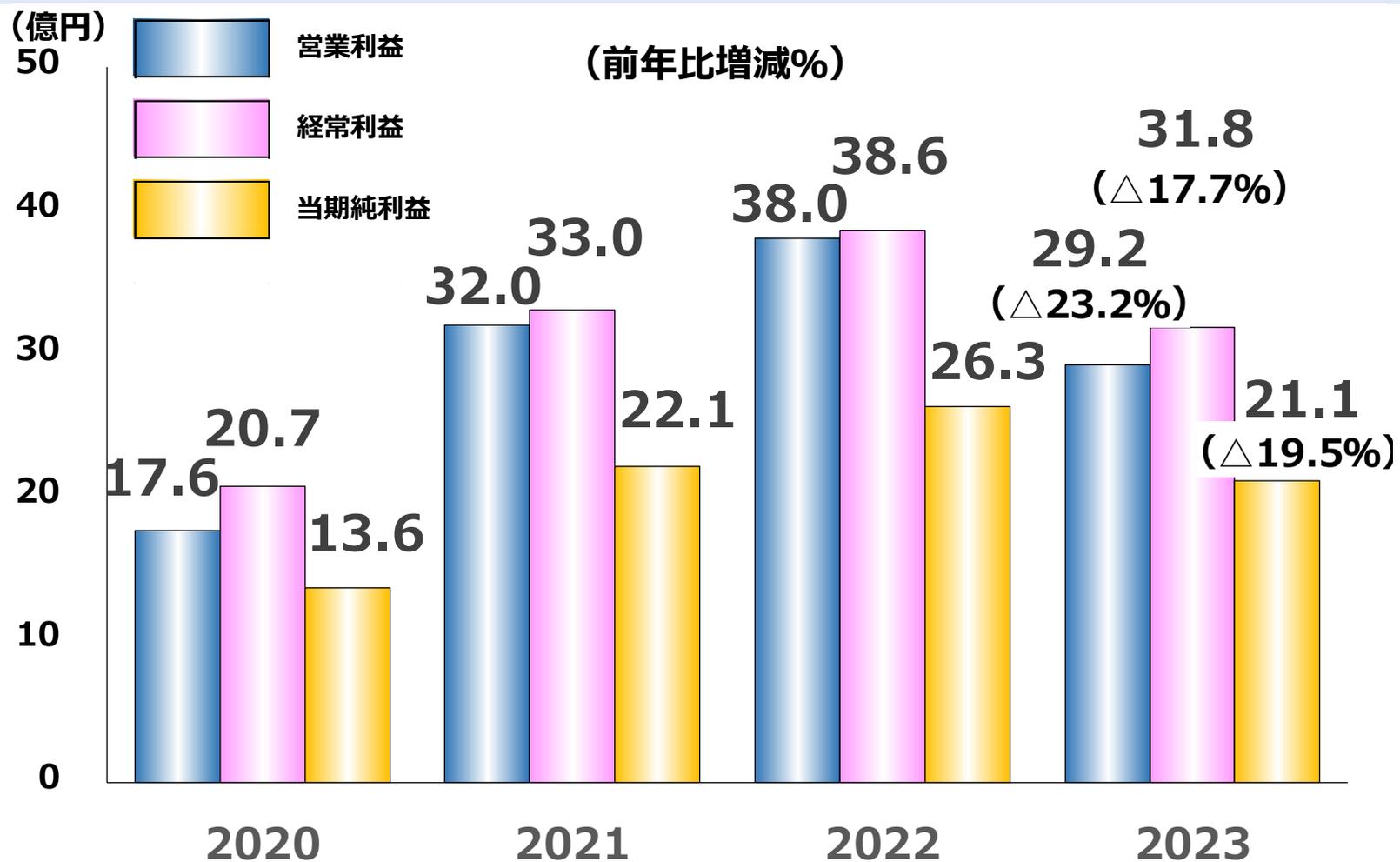
事業報告

代表取締役 友岡 正明

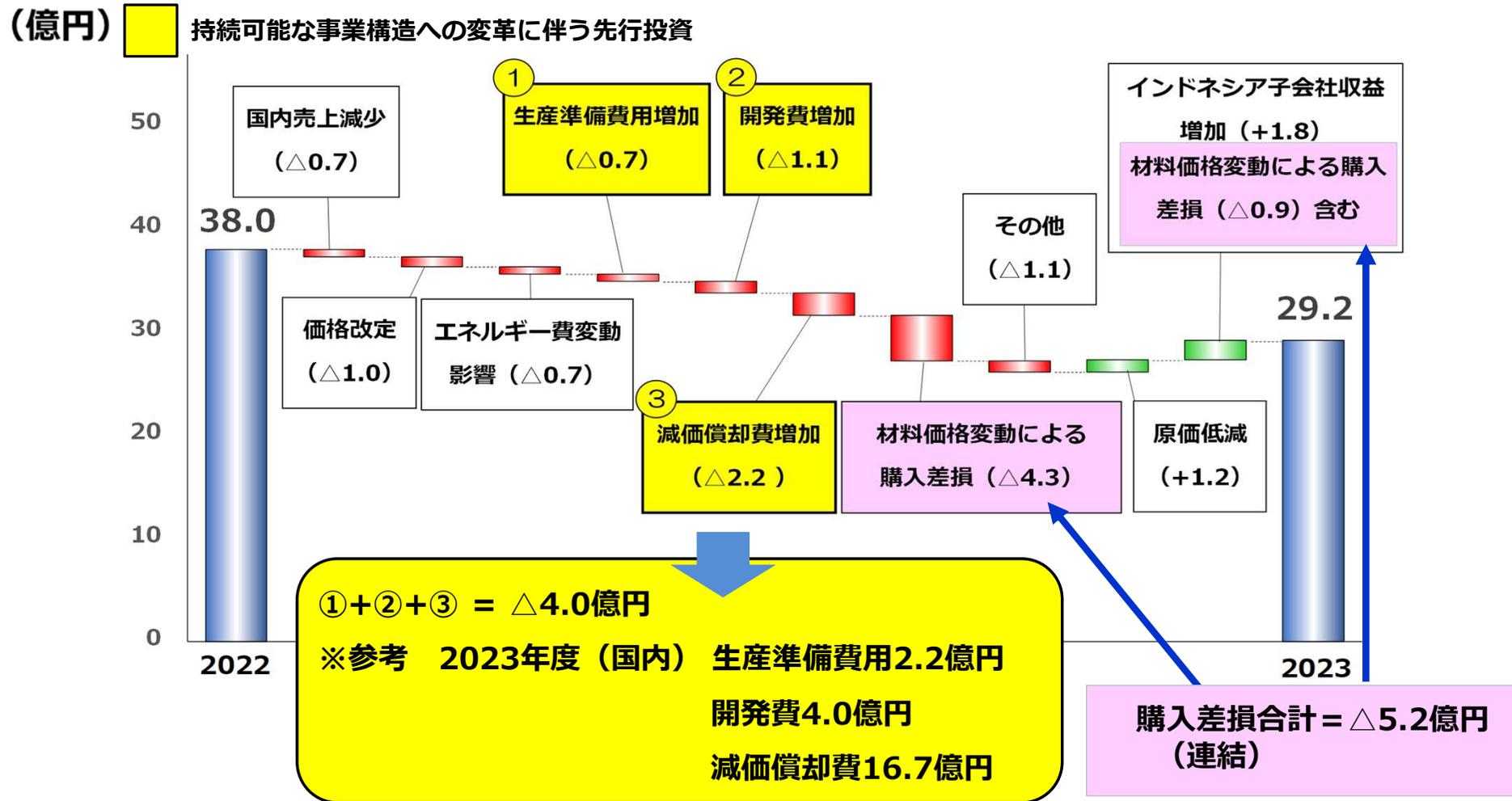
当社グループの現況（売上高）



当社グループの現況（利益）

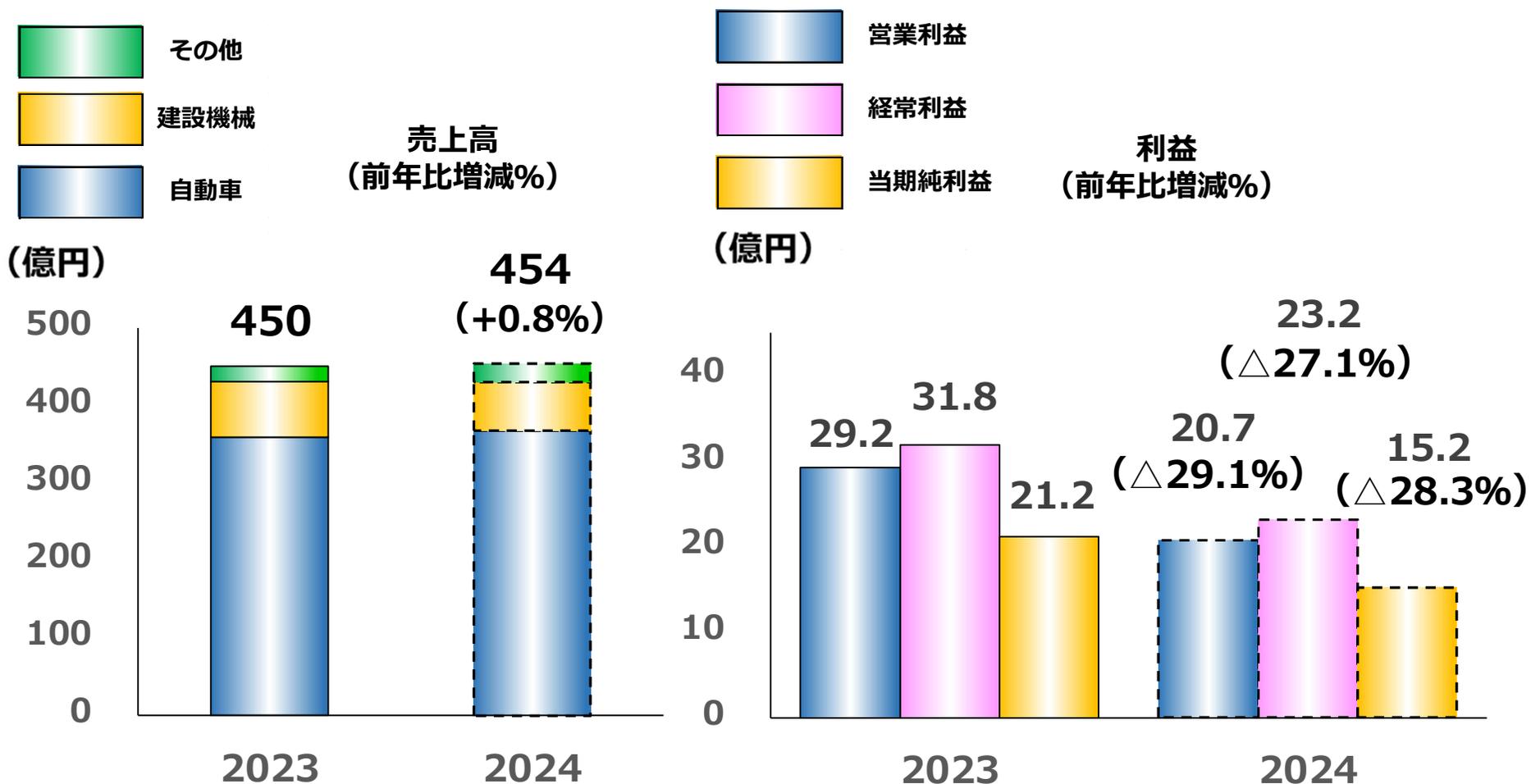


連結営業利益変動要因



2024年度業績予想について

連結売上高及び利益見通し

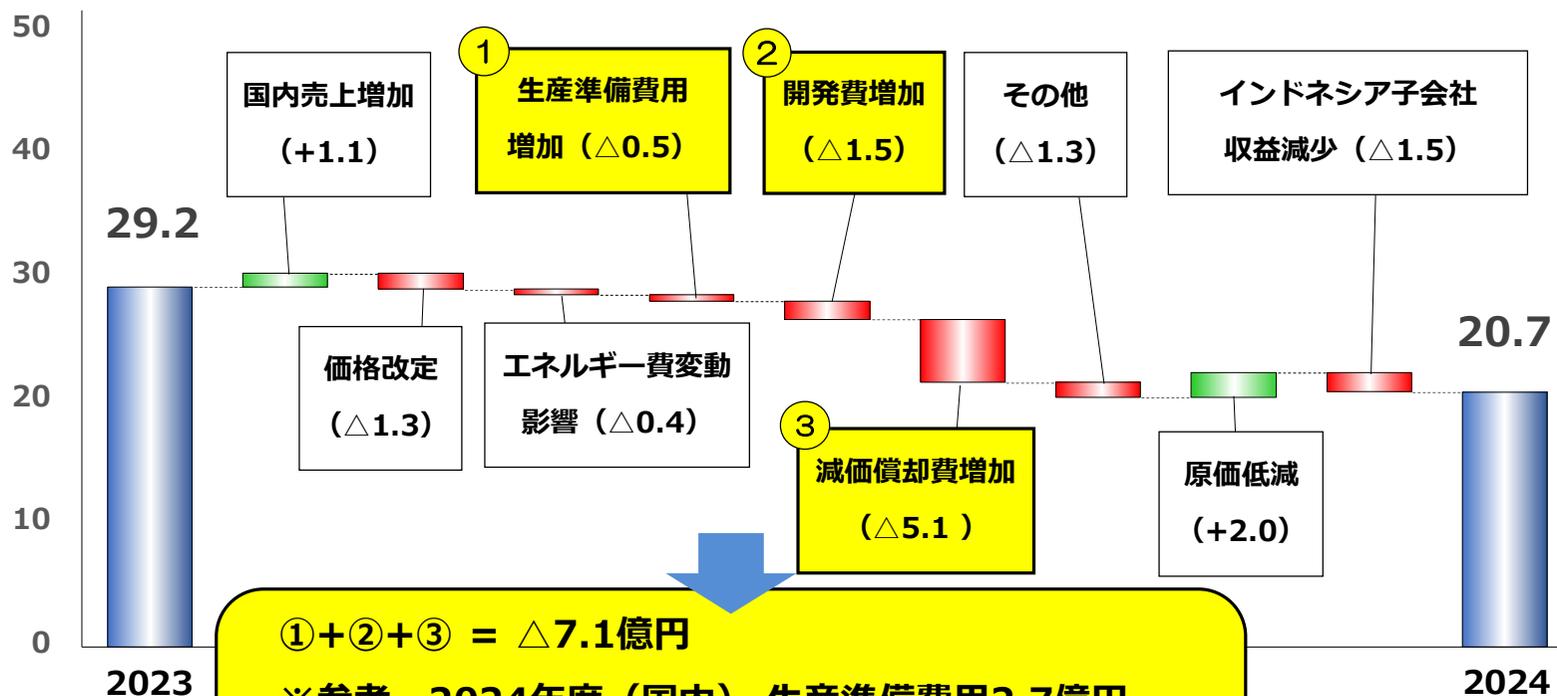


連結営業利益変動要因

(億円)



持続可能な事業構造への変革に伴う先行投資



①+②+③ = △7.1億円

※参考 2024年度(国内) 生産準備費用2.7億円
開発費5.5億円
減価償却費21.8億円

2030年ビジョン ～5年目の取組みについて～

- 1 | 外部環境予測
- 2 | 持続的成長に向けたの課題と取組み
「原点回帰と変革」

1 | 外部環境予測



外部環境予測

2030年にむけた課題は変わらない

- ・世界的なカーボンニュートラルに向けた取り組みは加速
⇒当社主力の自動車市場の電動化（電動化含む）は加速
BEVの成長鈍化も、マルチパスウェイの脱炭素化へ
- ・国内の超少子超高齢化がコロナ禍で更に加速
⇒市場の縮小、生産年齢人口の減少が加速



持続的成長に向けての最重要課題を再認識

- ① 事業の持続的な構造への変革
- ② 人材確保/定着化

⇒環境変化に合わせて2030年ビジョンの取組みを推進



メタルアートグループスローガン



Aggressive Risk Taking

～全員でひたむきに熱きものづくりへの挑戦～

第93期

定時株主総会

2 | 持続的成長に向けた 課題と取組み

「原点回帰と変革」



原点回帰

01



メタルアートウェイの浸透



02



国内既存事業の収益構造改革



03



海外事業のさらなる収益拡大



04



BCPの推進



05



コトづくりの推進





原点回帰

01



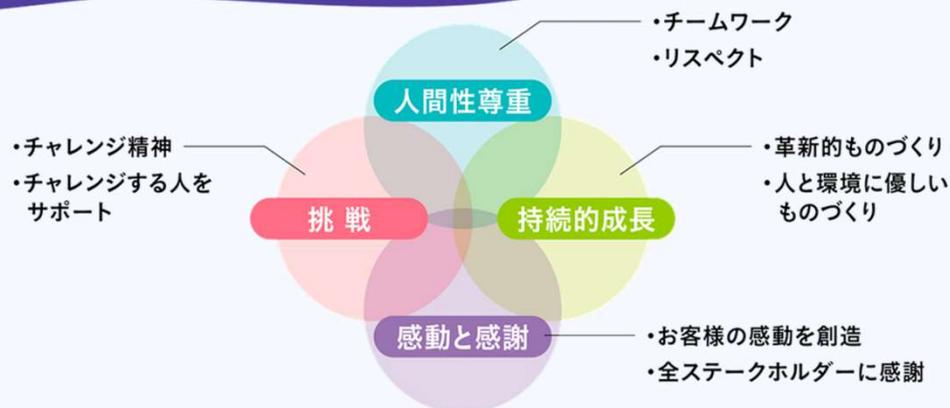
メタルアートウェイの浸透

ひとづくり・文化づくりの継続

社長が直接、全従業員に対して研修を実施

(組織を跨ぐ横串・少人数制・ディスカッション形式)

メタルアートウェイ～私たちの大切な想い～



全員が主体的に変わり、ひとり一人の多様な意見や挑戦を尊重し、全員参加で挑戦を続け、どんな環境変化にも適応してゆける強い企業文化に変わろう！

原点回帰



02

国内既存事業の収益構造改革

1年目 (2020年度)	2年目 (2021年度)	3年目 (2022年度)	4年目以降 (2023年度以降)
-----------------	-----------------	-----------------	---------------------

デジタル活用による
各職場の業務改革推進
(全員がデジタルツールを学ぶ)

省人化への投資
(FA推進、AI・IoT実装)

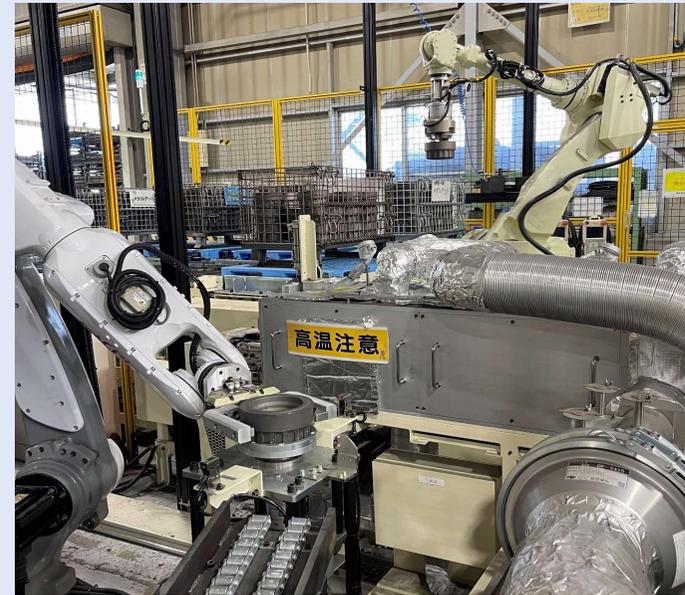
費用原単位の低減
(全員参加の競争力向上活動)

- ① 全員参加のチーム活動
- ② エンジニアが省人化を推進
- ③ 全員が生産ライン/業務をデジタルツールを活用した業務改革推進

省人化の取組み



投入から潤滑・冷間精密成形・画像検査一貫ライン



- 投入から潤滑・冷間精密成形・画像検査の各工程を4台のロボットで一貫ライン化することで効率的な生産ラインを構築（23年7月導入 2組2直6人省人）

DXの取組み



AI・DX基礎教育を推進



成果発表会の様子

	(製)総額料	(製)刃具・工具費	(製)消耗品	(製)消耗器具備品	(製)事務消耗品	(製)庶務交済費	合計
予算	1,017,250	0	2,534,730	1,740,530	9,100	2,060	5,303,670
実績	700,760	817,500	1,598,081	251,870			3,368,211

発注号	仕入計上月	部門名	コード	勘定科目	分類	品目名	金額
A-23-33180	23年12月	熱間鍛造室 第1G	100	(製)修繕料	受入	投込型レーテ水用ホ付付け込みのガ	67,500
A-23-32548	23年12月	熱間鍛造室 第1G	100	(製)消耗器具備品	受入	ルブリケータ	3,120
A-23-33583	23年12月	熱間鍛造室 第1G	100	(製)消耗器具備品	受入	逆止の弁	2,330
合計							3,368,211

他拠点にもオンラインで配信

- 未来創造・DX推進センターが主体となり、全スタッフ・工場職制を対象に基礎教育および成果発表会を実施中。現在、2期33人が修了（教育期間：3ヶ月）

原点回帰



海外事業のさらなる収益拡大

【全員参加の競争力向上活動】

- ・費用原単位低減活動の継続および強化
- ・工場DX推進によるものづくり改革
- ・プロパー人材で運用できる会社を目指し人材育成を強化

【新規拡販活動強化】

- ・合併パートナーのアストラ・オート・パーツと協力したインドネシア市場に適したマーケティング活動の推進
- ・ASEANの自動車電動化（2輪・4輪）を見据えた市場調査およびモータ事業の横展開検討



原点回帰

BCPの推進

【南海トラフ等の大規模地震への備え】

- ・ 人命最優先を基本に大規模地震に対する減災対策および早急な生産復旧と地域支援への備えを推進中

（地域支援の取組み）

「災害時における井戸水の使用に関する協定書」を
滋賀県草津市と締結

「災害時における一時避難所としての使用に関する協定」を
宮崎県門川町と締結

【サイバー攻撃への備え】

- ・ VPNのセキュリティ強化およびバックアップ構成の見直し実施



地下水の飲料化システム



原点回帰

コトづくりの推進

【地域貢献】

- ・ 毎日16時半～従業員全員で工場内・会社周辺の清掃活動実施
- ・ 滋賀県のプロバスケットチーム滋賀レイクスに協賛

⇒高校生100人無料招待イベント開催

- ・ びわこペーロン大会へ出場
- ・ 地元自治会イベントへの参加

【地域との共生：環境負荷低減活動】

- ・ 常時監視システムでの常時監視および継続的な低減活動推進



びわこペーロン大会



野路町例祭



滋賀レイクス

変革

01



写真はイメージ

新たな事業への挑戦



02



写真はイメージ

既存事業の新規拡販



03



カーボンニュートラルの推進



04



地域社会への貢献



変革



01

モータコア順送プレス

モータ事業への参入

世界的な脱炭素の潮流/自動車業界の100年に1度の大変革期
 による当社主力のエンジン・トランスミッション部品市場縮小
 に備え、2018年3月に未来創造センターを立上げ新事業の創出
 に向けたマーケティングと研究開発を開始
 2020年度よりモータ事業にターゲットを絞り開発を推進中

モータ事業の進捗状況①



モータコア生産工場竣工



モータコア工場

- ・滋賀県（水口工場敷地内）に月2万セットのモータコア生産能力を有した専用工場（敷地面積2,100㎡）を23年11月に竣工



ステータコア | ロータコア

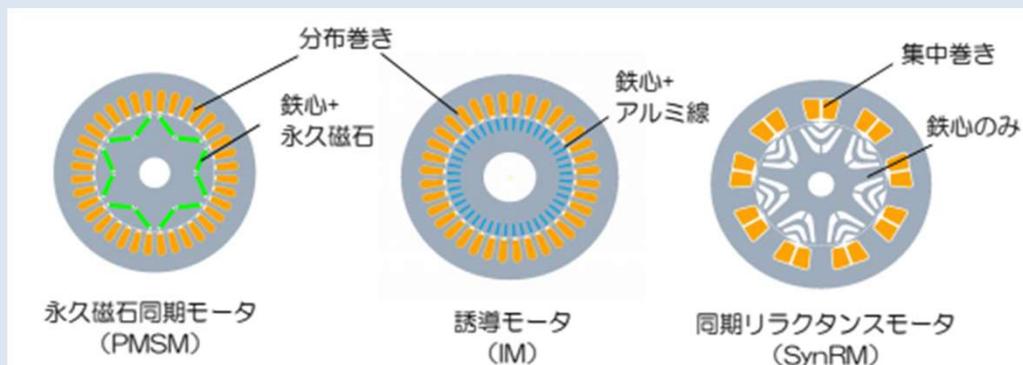
- ・モータコア工場の強みはプレス打抜きから積層後の工程も含めて一貫生産することにより高品質・低コストの製品を短いリードタイムで提供可能

モータ事業の進捗状況②



同期リラクタンスモータの開発

従来モータ（一般的な自動車用駆動モータ） 開発モータ



	永久磁石同期モータ (PMSM)	誘導モータ (IM)	同期リラクタンスモータ (SynRM)	開発ポイント
コスト	100	85	75	・磁石使用ゼロ ・最適形状設計
サイズ	100	140	125	・コイルエンド高さ低減
特徴	○: 低損失・高効率 ×: 磁石使用/コストUP	○: 構造が単純・堅牢 ×: 二次銅損による効率悪化	○: コスト特化+効率/サイズの良バランス ×: 低回転域のトルクリップル(振動)/大	

開発のポイント

- ・永久磁石レスで材料費低減
- ・集中巻き採用で銅使用量とモータサイズをMin化
丸銅線（安価、調達容易）
- ・独自形状・制御方法で
低トルクリップルを実現

開発モータの出力特性

最大モータ出力	5.0kW
最大モータトルク	50Nm
最大力行回転数	4,000rpm
最高回転数	12,000rpm

e-4WDシステムへの搭載を目指す

モータ事業の進捗状況③



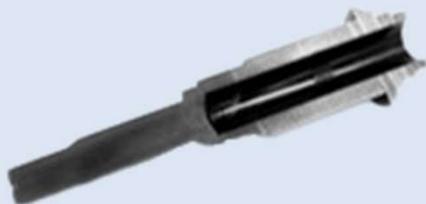
モータシャフトの生産体制

プレスの特徴 スクリュープレス

- ・ 導入時期：2024年12月
- ・ 生産能力：90,000個/月

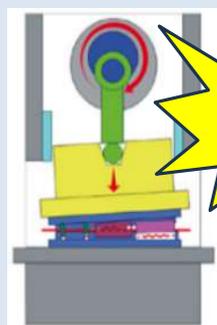
適用可能サイズ

- ・ 全長：100mm～250mm
- ・ 製品径：Φ40～60



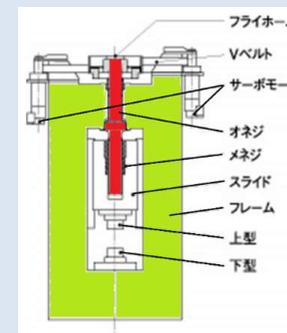
深穴成形部位は成形パンチ（金型）が非常に長くなるため、クランクプレスで成形すると横力発生により折れる懸念あり
スクリュープレスは成形中心に対し、機械中心が同軸であるため横力が発生せず深穴成形に最適

クランクプレス



横力発生

スクリュープレス



横力なし

モータ事業の進捗状況④



モータシャフトの生産体制

鍛造から機械加工完成品までの一貫生産

- 自動車用CVT・MTギヤの完成品加工経験を通じ機械加工技術を習得
- ⇒機械加工から熱処理（高周波）・研磨まで対応

●従来工法



●開発工法



開発工法のメリット

- ① 工程集約による非稼働時間短縮
- ② 1チャック加工による精度UP
- ③ 占有面積及び設備台数の削減

全自動機械加工ライン

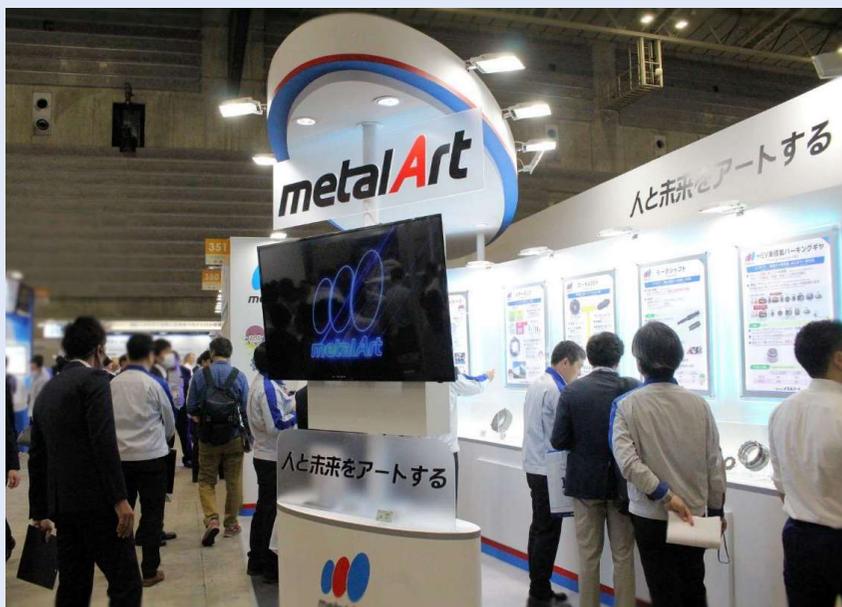


- 高速搬送ローダーにより完成品工程まで全自動化
- インライン自動検査装置による品質保証実現

モータ事業の進捗状況⑤



受注獲得にむけた営業活動強化



24年5月「人とくるまのテクノロジー展2024YOKOHAMA」出展の様子

2024年7月のNAGOYAも出展予定



変革

02



産業用ロボット部品加工ライン
(馬場第2工場)

既存事業（鍛造、機械加工）の新規拡販

- ・「鍛造から機械加工一貫生産」の経験を活かした最適工法の提案力を強みに自動車以外の分野の新規拡販を強化

【事例】

- ・産業用ロボット部品を「機械加工完成品」で拡販を推進
馬場第2工場※を産業用ロボット部品向けに再編中
※現状：自動車のトランスミッション部品の機械加工工場
- ・子会社メタルフォージ（宮崎県）に大型油圧ハンマー導入
および機械加工建屋建設中。「鍛造から機械加工一貫生産」へ
変革への柔軟な対応のため、2025年4月に経営統合

既存事業の新規拡販状況

宮崎県に 8 Ton油圧ハンマー導入中



- ・ 産業機械および建設機械等でニーズの高い大物鍛造品に対応するため大型ハンマーを導入中
- ・ 鍛造から機械加工一貫生産にむけて機械加工建屋建設中

変革



03



カーボンニュートラルの推進

- ・ 2022年3月1日に「CN推進センター」を新設
グループ会社を含めた横串活動として
「CN推進プロジェクト」を立上げ取組を開始
- ・ 活動の概要および目標

【概要】

生産プロセスの脱炭素化、排熱利用、
脱炭素電力への置き換え（2022年度より関西電力と契約済）
太陽光パネルの設置による創電

【目標】

2030年 2013年度比△46%、2050年カーボンニュートラル実現

カーボンニュートラルの進捗状況



一貫生産ライン化によるCO2削減



カーボンニュートラルの進捗状況



コンプレッサのエア漏れ点検によるCO2削減



・設備のエア漏れ撲滅活動（調査と修復）を23年1月から開始、24年2月完了（12.7t-CO2削減）

変革



農業事業への参入

- ・ 滋賀県草津市への貢献とサステナビリティの課題のひとつである「継続的、安定的な雇用の確保」を目指す
- ・ 当社の培ってきた「ものづくり」の知見を活かせる農業事業への参入を決定
- ・ 地域住民の方に喜んでいただける果物を中心に新たなブランド価値を創造



メタルアート公式キャラクター

農業事業の進捗状況



いちご農園“湖と苺”の開園準備中（25年2月予定）



コトづくりとして、従業員とご家族を招いたいちご狩りや、近隣保育園への寄贈等を実施

「第2回全国いちご選手権」入賞

従業員が多数応募した中で、1作品が

「みおしずくスイーツコンテスト」入賞



・他にも、さつまいもを育成しお芋掘りイベント等も実施

企業価値向上に向けた取組み状況

- 1 | 株主還元・IR活動の充実にに向けた取組みについて
- 2 | 連結経営指標推移（2018年～2023年）
- 3 | 考察（2024年現在）
- 4 | 2021年～2025年の開発・投資計画
- 5 | 財務状況

(注1)2018年に5株→1株併合、表示単位を現状に合わせています。

(注2)金額は、表示単位未満を切捨てて表示しています。

株主還元・IR活動の充実に向けた取組みについて

・株主還元について

株主還元の姿勢をより明確にするため、2023年11月9日に配当方針の見直しを実施。短期的な業績への連動を配慮しつつ、当社の財務状態、業績動向、将来の資金需要等を戦略的・総合的に考慮し、継続的かつ安定的に実施していく事を基本方針とし、連結配当性向の目標としては30%といたしました。

・IR活動の充実について

- ①決算開示と同時に決算補足説明資料の開示を実施
- ②ホームページおよびメディアを通じた情報発信の推進
- ③IR担当を配置、IRインタビュー等の対応を強化

連結経営指標推移 (2018年～2023年)

売上高

単位：億円



純利益/率

単位：億円



配当額/配当性向

単位：円/株



対18年比では、売上高：140%に増加、純利益：265%に増加したが事業構造の変革に伴う投資負担により昨年は純利益が減少。配当額は337%に増加したが、配当性向は16.4%と低い水準

連結経営指標推移 (2018年～2023年)

ROE



ROIC



PBR



対18年比では、ROE：10%に上昇、ROIC：7.6%に上昇したが、事業構造の変革に伴う投資負担により昨年度は低下。PBRは改善したが依然として低水準。事業構造の変革を実現し企業価値向上を目指す。

考察（2024年現在）

企業価値向上の取組みに対する2024年時点の考察



株式市場からの評価（順不同で記載）

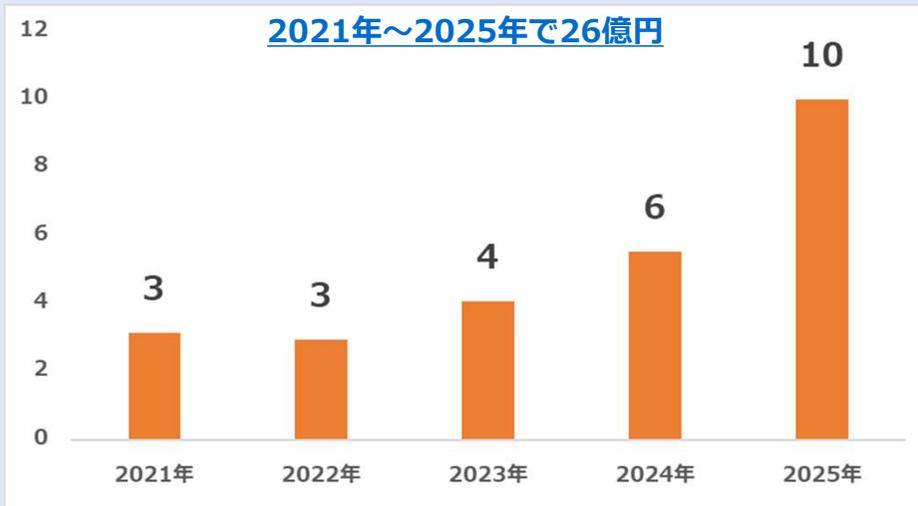
- ・ 事業の持続可能な構造への変革に取り組んでいるが未だモータ事業の新規受注が出来ていない
- ・ 先行投資負担の影響が顕在化してきているが、事業構造変革はいつまで続くのか不安
- ・ 株主還元の配当性向目標値を公表したことは評価出来るが、変革に伴う資金を考慮した水準のため、増配実施も配当性向目標は未達で不十分
現預金は十分あるのになぜ？
- ・ IR活動強化により株価が上昇、更なる強化を期待

新事業実現に懐疑的、株主還元に対する株主の皆様/株式市場のご評価は現時点も低く、PBRは低水準にとどまっている

2021年～2025年の開発・投資計画

研究開発費計画

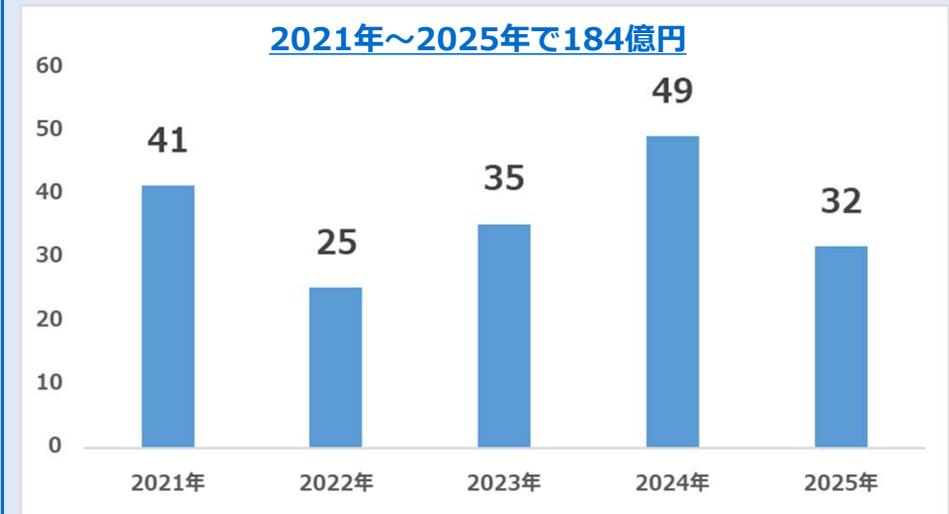
単位：億円



・研究開発費の投資を加速

設備投資計画

単位：億円



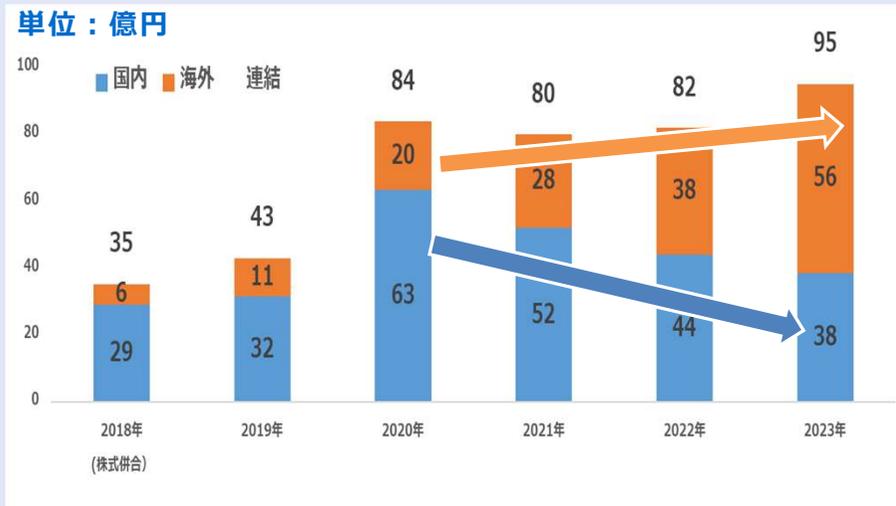
・リスクを取り、先行投資を継続

5年間で研究開発・設備投資で210億円投資
2026年以降も事業構造の変革に伴う挑戦は続く

財務状況

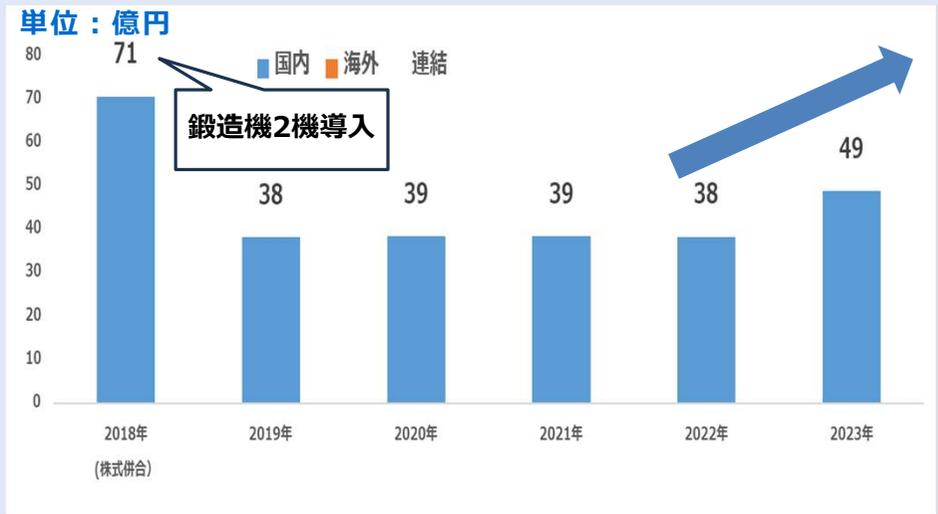
国内外資金残高推移

- ・ 国内：事業構造変革に伴い国内資金減少
- ・ 海外：将来の電動化にむけて資金を留保



国内外借入金推移

- ・ 先行投資継続のために借入金増加



連結で見ると資金残高は潤沢だが、国内は先行投資継続のため借入金増加
海外は金利負担を考慮し、モータ事業の現地展開にむけ資金準備中

第93期（2024年3月期）連結計算書類

(注)金額は、表示単位未満を切捨てて表示しています。

連結貸借対照表（要旨）

(2024年3月31日現在)

(億円)

科目	金額	対前年 増減額	科目	金額	対前年 増減額
流動資産	256.1	△ 2.2	流動負債	167.1	△ 7.1
有形固定資産	173.5	17.2	固定負債	20.2	△ 5.3
無形固定資産	0.2	0.0	負債計	187.4	△ 12.4
投資有価証券	2.7	0.9	株主資本	210.8	17.7
その他	7.4	1.0	その他包括利益累計額	13.2	6.5
投資その他の資産	10.2	2.0	非支配株主持分	28.6	5.2
固定資産	184.0	19.2	純資産計	252.7	29.4
資産合計	440.2	17.0	負債・純資産合計	440.2	17.0

【1株当たりの当期純資産 7,603円62銭】

連結損益計算書（要旨）

項目	金額	対前期増減率
売上高	450億2千1百万円	1.8%
営業利益	29億2千1百万円	△23.2%
経常利益	31億8千3百万円	△17.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	21億1千9百万円	△19.5%

【1株当たりの当期純利益 719円21銭】

議案の説明

決議事項

- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 取締役5名選任の件 |
| 第2号議案 | 監査役1名選任の件 |
| 第3号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |

第1号議案

取締役5名選任の件

取締役候補者

※招集ご通知5頁から8頁をご覧ください



友岡正明

[地位および担当]
代表取締役社長

[候補者属性]
再任



武田正臣

[地位および担当]
常務取締役

[候補者属性]
再任



福本照久

[地位および担当]
取締役
株式会社メタルフォージ
代表取締役社長

[候補者属性]
再任



竹林満浩

[地位および担当]
取締役
(公認会計士)

[候補者属性]
再任
社外
独立



荻野奈緒

[地位および担当]
同志社大学
法学部 教授

[候補者属性]
新任
社外
独立

第2号議案

監査役3名選任の件

監査役候補者

※招集ご通知9頁から11頁をご覧ください



溝井辰雄

[地位および担当]
監査役

[候補者属性]
再任



中谷信樹

[地位および担当]
ダイハツ工業株式会社
経理部長

[候補者属性]
新任
社外



村松千左子

[地位および担当]
滋賀大学
データサイエンス学部
教授

[候補者属性]
新任
社外
独立

第3号議案

補欠監査役1名選任の件 補欠監査役候補者

※招集ご通知12頁をご覧ください



有村隆

[地位および担当]
弁護士

[候補者属性]
再任

質疑応答

議案決議

決議事項

- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 取締役5名選任の件 |
| 第2号議案 | 監査役1名選任の件 |
| 第3号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |

第1号議案

取締役5名選任の件

取締役候補者

※招集ご通知5頁から8頁をご覧ください



友岡正明

[地位および担当]
代表取締役社長

[候補者属性]
再任



武田正臣

[地位および担当]
常務取締役

[候補者属性]
再任



福本照久

[地位および担当]
取締役
株式会社メタルフォージ
代表取締役社長

[候補者属性]
再任



竹林満浩

[地位および担当]
取締役
(公認会計士)

[候補者属性]
再任
社外
独立



荻野奈緒

[地位および担当]
同志社大学
法学部 教授

[候補者属性]
新任
社外
独立

第2号議案

監査役3名選任の件

監査役候補者

※招集ご通知9頁から11頁をご覧ください



溝井辰雄

[地位および担当]
監査役

[候補者属性]
再任



中谷信樹

[地位および担当]
ダイハツ工業株式会社
経理部長

[候補者属性]
新任
社外



村松千左子

[地位および担当]
滋賀大学
データサイエンス学部
教授

[候補者属性]
新任
社外
独立

第3号議案

補欠監査役1名選任の件 補欠監査役候補者

※招集ご通知12頁をご覧ください



有村隆

[地位および担当]
弁護士

[候補者属性]
再任

閉会

本日はご出席、誠にありがとうございました

ワクワクする会社になろう！

メタルアート公式キャラクター



会社概要

会社名	株式会社メタルアート
代表取締役社長	友岡 正明
資本金	21億4,348万円
設立年月日	1943年8月6日
従業員数	1,054名（2024年3月末時点）

役員（2024年6月現在）

代表取締役社長	友岡 正明
常務取締役	武田 正臣
取締役	福本 照久
取締役（非常勤）	竹林 満浩 / 萩野 奈緒
監査役	溝井 辰雄
監査役（非常勤）	中谷 信樹 / 村松 千左子

株式会社メタルアート

〒525-0059 滋賀県草津市野路3丁目2番18号



077-563-2111



contact@metalart.co.jp

<https://www.metalart.co.jp>